

訪問時
頼りになる

“見守り手帳”完成!!

絆オレンジの
手帳カバー
付き!



2月以降、
協力員の方へ
1冊ずつ
配付します



“見守り手帳”には「見守り・寄り添い活動の手引き」の中から特に重要な情報をまとめました。

気づきのポイントほか活動に役立つQ&Aなども掲載し、携帯にも便利です。また、状況変化を確認する手がかり

となる、訪問や面会時の内容、活動を記録するメモ欄も設けました。

その上「いざ」という時にすぐに対処できる、緊急時の対応や地域包括支援センター・区役所関係機関などの連絡先一覧も。ぜひ活用ください。

次号のお知らせ

平成27年11月12日に千住ブロックにおいて、絆のあんしん協力員・民生委員・医療機関・介護事業所の方々が集まり「第1回常東地域あんしん拡大推進会議」(あんしん連絡会の拡大版)が開催されました。詳しい内容は、次号にてお知らせします。

各地で活躍する

今回の担当は... **中部ブロック!**
(基幹・あだち・関原・中央本町・本木関原)



絆のあんしん協力員&協力機関 +包括職員

絆 日頃から会話を大切にしています

「夫婦で長年クリーニング店を営んでいます。お客さんも顔なじみの方が多く、店先での話が尽きない時は家に上がってもらい、お茶とお茶菓子を出して、まるでサロンのように賑わっています」とお話される鈴木さん。ご近所のお1人暮らしの方の見守りや声掛けもしてくださっており、鈴木さんのお人柄で皆さん心を開かれているようです。ご主人は三味線の先生でもあり奥様はご主人に合わせて唄を披露し、介護施設や被災地に足を運んでボランティアを行う等、



地域包括支援センター本木関原
絆のあんしん協力員 鈴木さん

毎日忙しい日々を送られています。「今後もお店のお客さんとの会話を大切にし、ボランティア等も頑張っていきたい」と笑顔で話されていました。お店を畳んだ後はお店の一角でカフェを開きたいと。



基幹地域包括支援センター
専門相談協力員(民生・児童委員)
梅田さん

絆 包括支援センターとの連携が大事

絆の専門相談協力員として地域を見守り、異変を見逃さないように気をつけています。ゴミが溜まっている場合や認知症の疑いのある高齢者を見かけた時には、すぐに地域包括支援センターに連絡して一緒に訪問しています。

高齢者が孤立しないために一人でも多くの方に絆のあんしん協力員に登録してもらい「絆のあんしんネットワーク」をもっと広めていきたいと考えています。

絆 青井四本友会「活動を通じて会の絆を大切にしています！」

青井四本友会は、現在51名の方が参加している老人会です。毎週水曜日の午後、自治会事務所1階にて「お茶べり会」を開いています。毎回13名前後の方が参加され、見守りに関する情報交換で盛り上がっています。

定期的な友愛訪問では、心配な高齢者の見守り活動をし、毎月1回、会のみなさんで協力しながら、町内の廃品回収をしています。置き場に出しに行くのが難しい方のお手伝いもされ、近



地域包括支援センター中央本町
あおいよんほんゆうかい
「絆のあんしん協力機関」青井四本友会
(青井四丁目ニツ家本町会老人会)

所に暮らす者同士、助け合いの気持ちで活動されています。

「お茶べり会」に参加されているみなさんに伺いました！

Q：見守り活動で気がかりなことは？

A：町会に入っていない・マンションやアパートに住んでいる人については、どこにどんな人が住んでいるか分からない。

昔は子供が多かったから、子供を通じて顔見知りになれたけど、顔も名前も知らない人がほんと増えたね。

Q：見守り活動をしていて思うことは？

A：日頃から顔の見える関係ができていると、話題の中でお互いに認識できるし、いざというときに助けあうことができる。自分たちの活動をもっと知ってもらって、新たに会に参加してくれる人を増やしていくことで、地域の助け合いの輪を広げていきたいです。

絆 中部ブロック包括職員を紹介します

気軽にお声がけください！



地域包括支援センター絆のあんしんネットワーク担当職員です。孤立ゼロプロジェクト調査の実態把握訪問を行ったり、見守り訪問を希望されている方を絆のあんしん協力員にご紹介したりしています。皆様の“見守りの目”にいつも助けて頂いています。見守り活動等に興味のあるお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ご紹介いただければ幸いです。

地域の居場所 サロンの紹介

うめだだんだん

第5回「梅田男談サロン」

ひとりじゃないよ。
みんなで「笑って!」「楽しむ!」
男性中心サロン



【男性だって居場所がほしい!】

地域包括支援センター関原では「地域課題を解決しよう」と、8月上旬に地域ケア会議を開きました。集まったメンバーは、絆のあんしん協力員や介護予防教室に来ている方などで、職員を除くと、皆、男性ばかりです。

会議の中で「孤立は男性が多い」という孤立ゼロ調査の結果が報告されると、出席した男性達から孤立しないための意見が活発に出されました。「Q.介護予防教室への参加は?」「A.女性の参加が多いよ」「Q.サークル、趣味活動の参加は?」「A.内容がほぼ女性向きだよ」「……ん?! **男性の趣味活動の場が無い!!!**」。

ならば、自分(男性)達で『男性が好む麻雀・将棋・囲碁を通じてサロン(趣味活動の場)を始めよう!』とまとまり、即行動。なんと翌9月の開催となったのです。

回を重ねるごとに、新しい友達(参加者)が増えています。ご自身に認知症状がある男性や、ご家族を介護している男性も参加しています。



地域ケア会議の様子



麻雀台は自分たちで作ります!



第一回梅田男談サロン開催!
18名の男性が参加しました

【お問い合わせ】関原包括支援センター
電話: 3889-1487

開催日	第1・第3 火曜日 (祝日のときはお休み)
参加費用	1回200円
場所	地域包括支援センター 関原(会議室)